



中学部ワーキングウィーク

中学部では、9月7日（月）～11日（金）の期間にワーキングウィークを行いました。普段行っている作業学習を1日通して行うという形で、5日間の校内実習を行いました。

3年生については、そのうち2日間を産業現場等における実習として、校外での実習に取り組みました。1年生にとっては初めての校内実習、2年生にとっては2度目の校内実習、3年生にとっては初めての校外での実習となり、一人一人が目標をもって実習に取り組む様子が見られました。

ワーキングウィークの様子

中学部では3つの作業班が第1班と第2班に分かれており、合わせて6グループで作業学習を行っています。さらに、新型コロナウイルス感染症防止のため、第1班と第2班をさらに2つの教室に分けて密にならないようにして取り組んでいます。

【家庭班】

刺し子製品やビーズ製品を作っています。一針一針丁寧に縫って刺し子の生地を作り、その生地にミシンをかけて、ティッシュカバーやコースターなどの製品を作っています。また、見本をよく見てアイロンビーズを並べ、それらを小物やアクセサリーに仕上げた製品を作っています。とても細かい製品ですが、集中して作っていました。



【紙工班】

今年度から名称が変わり、工芸班から紙工班になりました。油取りパックやがき、ファイルなどの製品を作っています。煮出した牛乳パックを細かくちぎり、ちぎった牛乳パックをミキサーにかけて油取りパックや紙製品を作る作業を行っています。工程ごとに役割を分担し、それらをしっかりと意識して作業に取り組んでいました。

【クラフト班】

今年度から名称が変わり、印刷工房班からクラフト班になりました。版画カレンダーやメモ帳、メッセージカード、一閑張りを作っています。それぞれの製品の工程を理解して、友達と協力しながら作業に取り組んでいました。



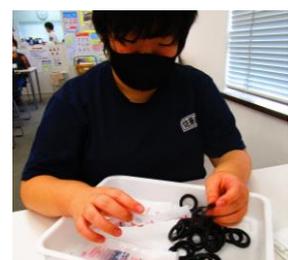
長い時間の作業学習でしたが、一人一人が自分の担当する仕事を理解し、最後まで集中して取り組む姿が見られました。

完成した製品は風と雲のまつりの販売会にて、中学部の保護者の方に購入していただきました。

産業現場等における実習の様子

【実習先・4事業所】

○じょうばん福祉作業所 ○虹のかけはし ○みなみテラス ○生活介護事業所ポポロ



中学部3年生では、ワーキングウィークのうち2日間、4つの事業所で産業現場等における実習を行いました。初めて校外の実習に取り組んだため、緊張する姿も見られましたが、事業所の方々と一緒に活動をする中で、挨拶や報告をしっかりと行うなど、仕事に対する姿勢を学ぼうとする場面が見られました。実際の職場で働く体験をすることの大切さとともに、これまで積み上げてきた学習の大切さを改めて感じ、有意義な実習となりました。

産業現場等における実習後には、1・2年生に向けて実習の報告を行いました。